

動物と人にも 優しいまちづくり ～飼い主のいない猫・犬の相談事業～

ペットとして飼っている人にとっては、家族同然の大切な存在である犬や猫ですが、飼い主のいない犬や猫もまた、同じく命のある生き物です。

本区では、飼い主のいない猫を見守る地域猫活動の推進をしております。地域猫活動とは、猫の世話をするボランティア、地域住民、行政の三者の協力により、地域猫として3つのルールのもとで、飼い主のいない猫を一代限り地域で見守るという活動です。

また、2022年10月から本区地域内における動物の相談支援体制整備事業を実施中です(2024年度まで)。飼い主が亡くなってしまったなどで飼養が難しい犬猫、飼い主のいない犬猫の譲渡を支援する事業で、保護団体に対しては、事業実施団体として登録をすると、譲渡を前提とした一時預かり、保護、治療、入院、不妊去勢等手術にかかる経費の一部を助成します(上限あり)。お困りの方は、一度ご相談ください。



△区内でNPOによる猫の譲渡会と保健所主催の「飼い方相談」を一緒に開催しました。

「地域猫活動について」
詳しくはこちら▶



「犬猫譲渡事業と助成について」
詳しくはこちら▶



2023 塚田ひさこの10の重点政策

- 1 あらゆる暴力から「子どもと女性」を守る
～若年女性から中高年・高齢者シングル女性まで、切れ目のない相談・支援体制をつくります。
- 2 豊島区版グリーン・ニューディールで地域に雇用を
～経済と環境の回復を同時に目指す仕組みと事業を提言します。
- 3 地域でつながり孤立しない
～居場所づくりや防災活動を通じて、誰一人のこさないまちづくりをします。
- 4▷ 教育格差を生まない教育支援の拡充(給食無償化、区独自の給付型奨学金、教材備品の無償貸与)
- 5▷ 不登校や引きこもり、全世代の「生きづらさ」に寄り添う体制
- 6▷ 区民と行政がパートナーの関係に
- 7▷ 保育、教育、介護などエッセンシャルワーカーの報酬アップ
- 8▷ 安心安全の給食は、有機農産物を中心とした顔の見える生産者から
- 9▷ 子どもが自由にかげめぐる遊び場「原っぱ」の復活
- 10▷ 動物にも優しいまちづくり、動物殺処分ゼロ



豊島区議会議員(無所属の会) 塚田ひさこのとしま区議会ニュース 2023年 01号

あなたの声が塚田ひさこの政策になります。

あなたの声をお聞かせください。

フォームよりお届けください▶



豊島区議会議員
(無所属の会)
塚田ひさこの
としま区議会
ニュース
2023年 01号

無所属の会 塚田ひさこの としま区議会ニュース

2023年
01号

発行日: 2023年3月30日
発行: 無所属の会 発行責任者: 塚田ひさこ
連絡先: 〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1 豊島区役所9階(無所属の会 控え室)
電話: 03-4566-2973 FAX: 03-3980-5174
塚田ひさこ事務所: 豊島区目黒2丁目18-15-411

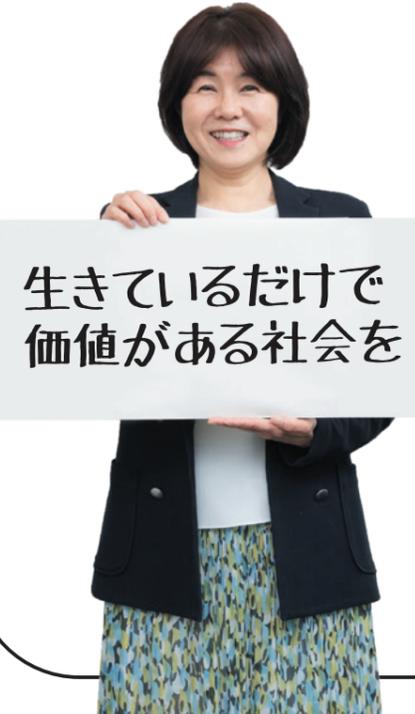
【所属委員会】総務委員会、公共施設・公共用地有効活用対策調査特別委員会、広報編集委員会、豊島副都心開発調査特別委員会、区政連絡会5地区常任相談役(目黒・雑司が谷・高田地区)
【プロフィール】1962年香川県高松市に生まれる。香川県立高松高校、成城大学文学部卒業。1986年サントリー(株)勤務を経て、出版社にて雑誌・書籍編集。企画制作会社にて企業や公的イベントのIT広報に従事。2005年～憲法と社会問題を考えるウェブマガジン「マガジン9」に参画。2019豊島区議会議員初当選。2022れいわ新選組所属。
連載中!「チャコの区議会物語」<https://maga9.jp/category/chako/>

WebSite: <https://toshima.site/> E-mail: tsukada@toshima.site Twitter: [hisakotsukada9](https://twitter.com/hisakotsukada9)



誰ひとり、とりのこさない
としまのまちづくりへ入りこま

2019年に区議会に送っていただきました。「地域からボトムアップで、みんなのびのびとくらす、自由で平和で豊かなまちをつくりたい」その思いで議員活動を続けてきた4年間でした。この4年の間には、たくさんの方の声を直接に聞いてきました。こちらから現場や相談会などに出向き、お声を聞かせていただいたこともあり、予算要望や一般質問にもつなげてきました。コロナ禍によって地域活動に大きな制限がかかりましたが、地域にくらみなさんと共に活動をすることで、改めて地域でつながる安心感や豊かさを認識しました。だからこそ「孤立・孤



独支援」の必要性を感じています。「ひと」とネットワークはまさに地域の宝です。区民と行政がパートナーの関係で、まちづくりを進めていくべきだと強く思うようになりました。そして「つないでいく」ことは、私の役目であると再確認しました。

「誰ひとり、とりのこさない、としまのまちづくり」のために、これからもしっかりと政策提言を行って参ります。



私たちみんなで決めよう！豊島の未来

「地域のことは、地域で決める」「区民と行政がパートナーの関係」の地域主権主義(ミュニシパリズム)で、これからのまちづくりは、進めるべき！ そのためにも引き続き要望を続けていきます。／「2023年度会派予算要望」より、塚田ひさこが特に要望したもの。

議会費

●区民のための議会改革を。議会報告会は多くの区民の方に議会に関心を持ってもらうような仕組みも考え実施されたい。

政策経営費

●区民参加型予算編成の導入を検討されたい。

●公共施設建設の計画立案においては、地域の声が反映されたものとなるようされたい。また、計画に関連する交渉に当たっては、地域の実態を把握し、より地域協働の観点を模索されたい。

●「SDGs未来都市」および「SDGsモデル事業」に選定され、推進してきた事業について、SDGsのゴール目標に対しての、現在の評価や効果を図る指標を設けて、区民にわかりやすく示されたい。

●ジェンダー統計(男女別の統計)を積極的に活用し、政策や事業におけるアンコンシャスバイアスを発見し、是正されたい。またジェンダー統計は、男女の置かれている状況を客観的に把握するためにも有効であることを周知し、各部局においても活用、

分析、研究することを推進されたい。

総務費

●コロナ化で打撃を受けた女性を取り巻く様々な環境の悪化に対応するための支援策を充実されたい。(DVや自殺予防の支援策)

●会計年度任用職員の勤勉手当などの処遇改善を図り、正規任用職員との格差是正に取り組みされたい。

●保健師、福祉職等の専門職採用については、十分な増員計画を作成し、福祉サービスの停滞が生じないようされたい。

区民費

●国籍要件を外し、全ての区民が平等に区民サービスを受けられるよう、徹底されたい。

文化商工費

●文化発信の街として、区内在住・出身のクリエイターとの連携を強化し支援の充実を図られたい。

環境清掃費

●欧州各国で広がりを見せ、札幌市や武

蔵野市で実施し、杉並区でも取り組みを始めている無作為抽出などによって選ばれた市民が、気候変動対策について話し合う「気候市民会議」の実施を検討されたい。

福祉費

●障がい者就労支援施策の充実を図られたい。

●引きこもり対策については、全世代にわたり実態把握に努められ、適切な相談・支援体制の強化と周知を図られたい。

●社会福祉法人の財政基盤が脆弱な部分を把握され、必要に応じた支援策を講じられたい。

●介護人材不足が顕著である。区内在宅サービス事業所の窮状を調査し、区独自の支援策を講じられたい。

●生活困窮者支援対策は、様々な民間団体との密な連携によって情報交換や伴走支援を充実されたい。

●精神障害者作業所におけるケアワーカー、相談員の人員費補助を拡充されたい。

衛生費

●地域猫活動(猫の世話をするボランティア、地域住民、行政の三者の協力により、地域猫として3つのルールのもとで、飼い主のいない猫を一代限り地域で見守る活動)がスムーズに進められるよう、区が助言などをし、地域ネットワークづくりやボランティアの負担が増えないような仕組みや支援を図られたい。

子ども家庭費

●高校中退者への相談・支援体制を図られたい。

●公設・民設保育園の更なる質の確保を図られ、官民格差が生じないようされたい。また、認証保育園・小規模保育園についても、当初定員の人員費充分の拡充を図り、安定的な保育環境を継続されたい。

●母子等の緊急一時保護事業については、暫定定員による財政困難が生じないよう十分な支援策を講じられたい。

●児童相談所運営において、ケースの実態を把握し、事案の積み上げを通して、こどもの権利が保障される相談・保護支援に力

を尽くされたい。

●ひとり親家庭等の子どもに対する学習支援においては、希望する通塾などの習い事負担の軽減策を検討され、家庭環境に左右されない施策の充実を図られたい。

都市整備費

●子育てファミリー世帯への家賃助成については、日本国籍を有する条件を撤廃され、多文化共生社会に相応しいものに変更されたい。

●民間の開発する大型マンション建設にあたっては、社会貢献を果たせるよう連携を図り進められたい。

●豊島区立総合グラウンドのテニスコートや野球場の周りの排水溝の柵が老朽化し、踏み外すなど危険なので対策を講じられたい。

●本区はボール遊びができる公園が少ない状況である。子どもが近隣住民からクレームを受けることなく、元気に遊び回れる遊び場の確保をどうしたら作れるのか、地域住民と共に考え創出されたい。

●スポーツ公園や学校跡地のグラウンド

の土ほこり対策を、コンクリートやラバーなど人工的なものではない方法にて、進められたい。(池袋本町電車の見える公園の検証を参考にされたい)

●神田川ソメイヨシノの保全に向けて、新宿区、文京区と連携をとり、持続可能な桜並木の名所として整備されたい。

教育費

●教職員の負担軽減のための働き方改革を推進するためにも、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの増員を図られたい。

●小中学校における性教育、ジェンダー教育、DV教育など、幼児教育からの必要性を研究され実施に向けて検討されたい。

●小中学校の学校給食の無償化を検討されたい。

●学校給食において、姉妹都市秩父市の有機栽培や特別栽培の食材を使用されたい。さらに、生産者交流を図り、食に関する知識の醸成を図られたい。また、遺伝子組み換え食材などの使用は回避されたい。

一般質問を行いました。(2023年2月・第1回定例会)

地域でつながらず、孤立しない地域をつくりたい。防災活動を通じ、地域コミュニティ力をアップ。



今期最後の質問を行いました。4年間のうち9回、本会議の一般質問に立ちました。「前向きに検討します」と答弁をもらった検討課題を中心に、再度確認とブッシュをするため質問を行いました。全てにおいて、「実施する」方向での答弁を得ました。

4月には本区初の建築職の女性管理職が誕生予定です。今後は説明会等において女性職員の参加に努めます。

地域防災について

問 2023年度の予算案重点事業の新規拡充事業に、災害時要配慮者対策として、豊島区モデルの着手とありますが、これまでとの違いは？

答 区全体にかかる地域防災対策と、災害弱者にかかる災害時要配慮者対策については、これまで防災、福祉部門がそれぞれ対策を進めてきました。本区の地域特性として、単身高齢者や集合住宅が多いことから、ご高齢の方や障害のある方が孤立しないように、全包围で支援策を講じる必要があります。来年度は包括的な体制で検討するため、地元の大正大学災害・防災分野の

一般質問をはじめ、塚田ひさこの議会で発言をこちらで見ることができます▶



専門家と共同研究を行い、本区の実情を反映したモデルづくりを進めます。

問 地域全体で要配慮者を守ることは重要だが、町会長をはじめ地域関係者の負担感が増すのではと心配している。行政が主体となるべき部分もあるのでは？

答 一方的な負担にならないよう、区が主体的、先導的に担っていくことが重要と考えます。平常時から積極的に役割を果たしていきます。

中高年・高齢者シングル女性を取り巻く課題と支援について

問 当事者団体(「わくわくシニアシングルス」)の調査により、40歳以上のシングル女性の生活状況が可視化されましたが、大変に厳しい状況にあることがわかりました。これら課題の深刻さについて、区の認識はありますか？

答 本区のくらし・しごと相談支援センターでの相談者の多くも、複雑な課題を抱えている。支援の幅をより一層広げていきます。

問 調査からは、女性の相談窓口の認知度の低さも浮き彫りになった。役所の窓口の行きつらさに対する区の取組についてはどのように考えていますか？

答 相談機関の周知や相談機会を設けると

とは大変重要と認識しています。今後、女性だけの相談会等も検討します。

本区独自の家賃助成・住宅供給制度の要件について

問 利用要件に国籍が含まれているが、本区の目指す多文化共生社会と相反するのではないのでしょうか。現状の認識と今後の取

り扱いについてお聞きします。

答 是正すべきと認識している。高齢者世帯等住み替え家賃助成及び高齢者向け優良賃貸住宅は、本年4月1日より国籍要件を撤廃予定。子育てファミリー世帯家賃助成事業は、令和5年度中に改正予定。

令和5年度 当初予算資料より報告「必要ところは、大胆な区独自の支援を！」

令和5年度一般会計の予算規模は、過去2番目の予算規模となっています。基幹歳入の増収を見込む一方で、3年連続で財政調整基金(広い目的用途に使える基金)を活用する予算編成となり、今年度は19億円の財政調整基金繰入金を計上しています。

東京都において、18歳までの子ども医療費が無償化されました。本区においては、子どもの入院の食事代も無償化となりました。加えて「18歳以上の子ども一人に2万円の給付(区の独自支援)」が、第1回定例会の補正予算で議論され、議決後予算化される予定です。

さらに私たちは、所得制限なしの「小中学校の給食費の完全無償化」を求めています。(無所属の会派は、議員提案の署名議員になっています)給食は義務教育の一環として、無償化されるべきものです。約6億円/1年間で実施できる概算も出ていることから、194億円の財政調整基金を十分に有効に活用し、いまずぐに実施すべきとこれからも訴えて参ります。

5年度当初予算(案)

| | | |
|------|--------------|----------------|
| 予算総額 | 1,961億6700万円 | (対前年度比 約2.0%増) |
| 一般会計 | 1,361億5100万円 | (対前年度比 約0.3%増) |
| 特別会計 | 600億160万円 | (対前年度比 約6.2%増) |

歳入(一般会計)

| | | |
|-----------|-----------|------------------------------------|
| 特別区税 | 367億8200万 | (対前年度比 33億4100万円増) |
| 特別区交付金 | 336億円 | (対前年度比 19億円増) |
| 地方消費税交付金 | 83億円 | (対前年度比 6億3900万円増) |
| 特別区債 | 21億9300万円 | (対前年度比 23億9400万円減) *小学校改築、造幣局跡地 |
| 財政調整基金繰入金 | 19億1200万円 | (対前年度比 29億1600万円減) *3年連続計上 |

基金について

| | | |
|------------|-------|-------|
| | 5年度予算 | 3年度決算 |
| 財政調整基金 | 194億円 | 220億円 |
| 義務教育施設整備基金 | 113億円 | 84億円 |
| 公共施設再構築基金 | 84億円 | 75億円 |
| 17基金 合計 | 473億円 | 446億円 |